

プログラム

特別講演 11:20～12:20

第1会場(10F パレアホール)

座長：猪股 裕紀洋(独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院 院長)

いのちを呼びさます場～医療と芸術との対話

稲葉 俊郎 軽井沢病院 院長・総合診療科 医長

基調講演 13:30～14:30

第1会場(10F パレアホール)

座長：大嶋 壽海(荒尾市立有明医療センター 病院事業管理者)

ポストパンデミックの地域医療を考える コロナ禍で培われた地域連携の展開

高山 義浩 沖縄県立中部病院 感染症内科 副部長

シンポジウム 14:30～16:30

第1会場(10F パレアホール)

座長：吉田 光宏(八代北部地域医療センター 院長)

梶谷 豊(独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院 MSW)

[治療も生活も！社会全体で担うケアを考える]

S-1 治療の拒否や経済的問題などによりケア介入困難な 終末期乳がんの症例を通して考える地域における多職種連携

坂田 百合野

玉名郡市医師会 訪問看護ステーション 管理者

S-2 つなぎ、つなぐ、支えあう ～多様な形でのつながりを考える～

川野 祥二

熊本市東3地域包括支援センター ささえりあ託麻

S-3 産業保健総合支援センターにおける「治療と仕事の両立支援」

尾池 千賀子

独立行政法人労働者健康安全機構 熊本産業保健総合支援センター

S-4 リハビリテーションを通じた地域づくりへの挑戦！ ～当事者一人一人に寄り添うことから～

五十嵐 稔浩

済生会みすみ病院

S-5 地域包括ケアシステムのホスピタリティーマネジメント

宮原 洋

株式会社とみた薬局 新八代駅前薬局

S-6 「多職種連携 ケア・カフェ」の取組について

井戸 晶子

八代市 健康福祉部 高齢者支援課

S-7 MaaS について

峯苔 ゆき子

峯苔医院

ランチョンセミナー1 12:30～13:20

第1会場(10F パリアホール)

座長：乾 誠治(杉村病院 院長)

経腸栄養に伴う誤嚥性肺炎を克服する新しい経管栄養プロトコル ～胃食道逆流、胃排出遅延へのアプローチ～

匂坂 正孝 医療法人匂坂会 サキサカ病院

複数の診療科の連携によって初めて達成できた褥瘡や足壊疽治療の成果

匂坂 正信 医療法人匂坂会 サキサカ病院 形成外科・美容外科
独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院 循環器内科 足壊疽班

共催：株式会社明治

ランチョンセミナー2 12:30～13:20

第2会場(9F 会議室1)

座長：片瀨 茂(朝日野総合病院 院長補佐)

「のさり」から見る 老いのゆくえ ～ホームホスピスわれもこうの活動～

竹熊 千晶 熊本保健科学大学大学院 教授
NPO 法人 老いと病いの文化研究所われもこう 代表

一般演題 口頭発表 プログラム

一般口演1 10:00～10:40

第1会場(10F パレアホール)

座長：相良 孝昭(熊本市立熊本市民病院 院長)

[クリティカルパス・医療の質1]

O-01 人工股関節全置換術(THA)パンフレットの見直し ～スタッフ間の意識の向上と患者指導に向けて～

○甲斐 和香菜
社会医療法人寿量会 熊本機能病院

O-02 退院時に終了されずに残っている アクティブなクリティカルパス(AP)の件数と電子カルテ起動時間の関係 —APが溜まるといかに電子カルテが遅くなるか—

○富田 正郎
国立病院機構 熊本医療センター

O-03 呼吸サポートチームの現状と課題

○菅原 真澄、寺瀬 真利子、高野 さおり、堤 真奈、嘉悦 昌吾、佐伯 和晃、
山本 慎一、古川 祥太郎、川上 和伸、中山 剛、丸山 広高
独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院

O-04 透析センターにおける身体拘束軽減に向けた取り組み

○溝上 より子、佐々木 良子、尾川 ひろえ
国保水俣市立総合医療センター

O-05 術前・術後経口補水療法導入に関する検討

○藤井 しのぶ¹⁾、金子 健吾²⁾、荒川 直美³⁾、水町 広恵³⁾、山本 佐登美³⁾、永野 智子¹⁾、
藤本 敦子¹⁾、中村 香織¹⁾、堀之内 圭子¹⁾、水流 茜¹⁾、藤崎 有香¹⁾、坂井 綾華¹⁾

- 1) 独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院、
- 2) 独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院 糖尿病・代謝内科、
- 3) 独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院 看護部

一般口演2 10:40～11:20

第1会場(10F パレアホール)

座長：杉田 裕樹(熊本地域医療センター 院長)

[医療の質2・医療安全1]

O-06 回復期リハビリ病棟での認知症ケアチームの取り組み ～患者様の症状や生活歴から個別アプローチを通して～

○池田 裕幸
医療法人朝日野会 朝日野病院

O-07 高齢肺炎患者における HAD と関連要因の検討について

○筒井 宏益

一般財団法人杏仁会 江南病院

O-08 透析時リハビリテーションに期待される効果

～身体機能および精神心理的の QOL の向上が生活に及ぼす影響～

○吉田 夏基

社会医療法人稲穂会 天草慈恵病院

O-09 当院における医療機器中央管理化への取り組み

○堤 真奈、有木 賢吾、川幡 優希、千々和 翔平、嘉悦 昌吾、植田 公昭

独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院 中央臨床工学部

O-10 感染性廃棄物減量のための対策と検証

—医療廃棄物の適正処理—

○峰松 将大

社会医療法人稲穂会 天草慈恵病院

一般口演3 10:00～10:40

第2会場(9F 会議室1)

座長：長倉 祥一(熊本南病院 院長)

[医療安全2]

O-11 当院における院内迅速対応システム(RRS)の現状と課題

○寺瀬 真利子、菅原 真澄、高野 さおり、大矢 雄希、成松 紀子

独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院

O-12 本人確認についてのアンケート調査結果から見えたもの

○尾川 ひろえ

国保水俣市立総合医療センター

O-13 緊急輸血時における当院中央検査部での取り組みについて

○前田 翔太、結石 友里菜、浜島 智央、森下 拓哉、森田 真衣、田尻 健太、森谷 智輝

独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院

**O-14 既存の装置・システムを利用した
検体ラベル貼り間違いによる未検査防止への取り組み**

○結石 友里菜、浜島 智央、前田 翔太、森下 拓哉、森田 真衣、田尻 健太、
森谷 智輝

独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院

O-15 注射実施時の適正な確認行動の取り組み
～A病棟への1人ダブルチェックの導入～

○多武 直美
熊本労災病院 看護部安全対策委員会

一般口演4 10:40～11:20

第2会場(9F 会議室1)

座長：阿部 道雄(国保水保市立総合医療センター 院長)

[地域連携]

O-16 ノルデックウォーキングを用いた地域自立支援プログラムの取り組み
～運動機能と運動習慣の検討～

○渡邊 弘、中田 宏樹、藤本 龍二、田中 誠
医療法人博光会 御幸病院

O-17 コロナ禍の地域連携を振り返る

○中島 一貴、清田 百華、大矢野 栞
社会医療法人寿量会 熊本機能病院

O-18 八代地域における嚥下調整食統一化プロジェクトの取り組み

○永野 智子¹⁾、金子 健吾²⁾、畠山 克隆³⁾、藤井 しのぶ¹⁾、藤本 敦子¹⁾、
堀之内 圭子¹⁾、中村 香織¹⁾、水流 茜¹⁾、藤崎 有香¹⁾、坂井 綾華¹⁾
1) 独立行政法人労働者安全機構 熊本労災病院 栄養管理部、
2) 独立行政法人労働者安全機構 熊本労災病院 糖尿病・代謝内科、
3) 独立行政法人労働者安全機構 熊本労災病院 リハビリテーション部

O-19 桜十字熊本宇城病院、宇城市、イオンモール宇城の連携による
健康増進への取り組み

○村上 真一郎
医療法人熊本桜十字 桜十字熊本宇城病院

O-20 精神疾患のある患者のストーマ造設から閉鎖まで
～かかりつけ精神科医や訪問看護師と連携して世帯ごと支援を行った1事例～

○坂田 舞、上淵 恵子、柿本 里美、西村 美樹子
独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院 看護部

[医療情報・教育研修1]

O-21 ランサムウェア感染被害時でも診療を継続できる診療データ参照システムの開発

○那須 照広

特定医療法人谷田会 谷田病院

O-22 電子カルテや院内サイトを開かないプッシュ型情報共有メソッドの開発

○那須 照広

特定医療法人谷田会 谷田病院

O-23 電子カルテ用ネットワークを活用した
業務用・職員用・患者用インターネット無線 LAN 環境の構築について

○伊藤 新

独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院

O-24 熊本県における公立病院の労働生産性と経営分析

○川島 秀樹

宮崎産業経営大学 経営学部 教授(医療政策)

O-25 当院における研修医リクルート対策

○松村 敏幸、常住 あや、原山 優、猪股 裕紀洋

独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院

[教育研修2・患者サービス]

O-26 院内教育

～リーダー育成と専門研修の効果～

○夏 奏¹⁾、鎌田 夕起子¹⁾、米満 弘一郎²⁾

1) 社会医療法人寿量会 熊本機能病院 総務課経営企画・広報係、2) 社会医療法人寿量会 熊本機能病院

O-27 作業療法士が対象者の幸福(Well-being)を促進するために求められる
職業倫理について

○山野 克明

熊本保健科学大学 保健科学部 リハビリテーション学科

O-28 リフレクティング・プロセスがソーシャルワーカーにもたらす効果
～ AI 分析からみる感情変化の視覚化～

○高見 翔太、森本 愛
社会医療法人寿量会 熊本機能病院

O-29 当院における患者サービス委員会2年間の活動における成果

○原山 優
独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院

O-30 テキストマイニングと AI を使用した患者アンケートの分析
～アンケートの自由回答を客観的に把握するために～

○江口 淳子、今田 吉彦、三宮 克彦、米満 弘一郎
社会医療法人寿量会 熊本機能病院

一般口演 7 14:30～15:10

第3会場(10F 会議室7)

座長：別府 透(山鹿市民医療センター 事業管理者)

[看護業務]

O-31 ナースコールの対応を改善し患者満足度を向上させるためへの取り組み

○塚本 夏鈴
独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院

O-32 コロナ禍をチャンスと捉えた業務改善
～外来看護師がポリバレントを目指した結果～

○山下 知晴、木村 仁美、前田 尊明
一般財団法人杏仁会 江南病院

O-33 看護部せん妄・認知症ケア委員会での取り組み
～車椅子乗車時の身体拘束ゼロに向けたアプローチ～

○大倉 香代、西村 美樹子、柿本 里美、上淵 恵子
独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院

O-34 急性期病院における高齢者への身体拘束を減らすために必要なこと
～身体拘束の低減に取り組んだ A 病棟ナースの語りより～

○上淵 恵子
独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院

O-35 バイタル連携システム導入により看護業務改善を行った一例

○浦口 美紀
社会医療法人稲穂会 天草慈恵病院

一般演題 ポスター プログラム

ポスター1 14:30～15:20

ポスター会場(10F 会議室8)

座長：薬師寺 俊剛(独立行政法人地域医療機能推進機構 人吉医療センター 副院長)

[地域連携・看護業務]

P-01 緩和ケアに従事する心理職のネットワーク構築に向けた取り組み
—熊本県緩和ケア提供体制発展事業において—

○一美 奈緒子¹⁾²⁾、吉武 淳³⁾

1)熊本大学病院 医療の質・安全管理部、2)熊本大学病院 緩和ケアチーム、3)熊本大学病院 緩和ケアセンター

P-02 患者と家族の思いに沿った退院支援
～多職種連携で取り組み退院後訪問を行った事例を通して～

○松本 麻美、岡村 香織

独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院 在宅ケア支援委員会

P-03 いびき対応の見直しと定着化への取り組み

○前田 さと子、黒田 真理子

社会医療法人寿量会 熊本機能病院

P-04 がん薬物療法における曝露対策への取り組み
～閉鎖式薬物移送システムの導入を試みて～

○梅田 知寿子

独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院

P-05 急性期病院における体圧分散寝具に関する取組み
—効果的な選択基準の考案—

○紫垣 絵梨香、松山 晃子、白石 美佳、水町 広恵、坂田 舞、荒川 直美

独立行政法人労働者安全機構 熊本労災病院

ポスター2 14:30～15:20

ポスター会場(10F 会議室8)

座長：岡嶋 啓一郎(南部中央病院 院長代行)

[医療の質1]

P-06 入院患者の速効性麻薬(レスキュー)自己管理導入後の病棟看護師の意識調査

○岡山 浩子¹⁾、椛谷 豊²⁾、堀之内 圭子³⁾、藤本 敦子³⁾

1)熊本労災病院 緩和ケアチーム 看護部、2)熊本労災病院 地域医療連携室、3)熊本労災病院 栄養管理部

P-07 アンドロゲン除去療法施行中前立腺癌患者に対する一次骨折予防の取組み

○北窓 正孝¹⁾、小齊 涼子¹⁾、辻 王成²⁾、續 政哉¹⁾

1) 医療法人朝日野会 朝日野総合病院 薬剤科、2) 医療法人朝日野会 朝日野総合病院 診療部

P-08 朝日野総合病院緩和ケア病棟における薬剤師の役割と今後の課題

○永野 桂子、續 政哉

朝日野会 朝日野総合病院 薬剤科

P-09 緊急ストーマ造設となった外国人患者の1事例

—生活と就労の支援—

○坂田 舞¹⁾、椋谷 豊²⁾、藤井 しのぶ³⁾

1) 独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院 看護部、
2) 独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院 治療就労両立支援部、
3) 独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院 栄養管理部

P-10 AYA世代がん患者のストーマリハビリテーション

—治療と仕事の両立支援から終末期支援までの1事例—

○坂田 舞¹⁾、梅田 知寿子¹⁾、岡山 浩子¹⁾、椋谷 豊²⁾

1) 独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院 看護部、
2) 独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院 治療就労両立支援部

ポスター 3 14:30～15:20

ポスター会場(10F 会議室8)

座長：豊永 哲至(菊池郡市医師会立病院 病院長)

[医療の質2・病院運営]

P-11 看護部感染対策委員の手指衛生に関する実態調査

○高村 敦史、谷口 誉子、和久田 容子、大倉 尚子

独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院

P-12 当院での簡易懸濁法導入時の準備と運用について

○武宮 陽道

独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院

P-13 長期化する医薬品流通制限における薬剤師主導の持参薬マネジメントとその効果

○内田 朱美、秀徳 優美、北窓 正孝、續 政哉

医療法人朝日野会 朝日野総合病院

P-14 COVID-19クラスター発生時に実施したスクリーニング検査についての考察

○和久田 容子、大倉 尚子、高村 敦史

独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院

P-15 給食施設使用不可時における食事対応マニュアルの改善

○藤井 しのぶ¹⁾、金子 健吾²⁾、永野 智子¹⁾、藤本 敦子¹⁾、中村 香織¹⁾、
堀之内 圭子¹⁾、水流 茜¹⁾、藤崎 有香¹⁾、坂井 綾華¹⁾

1) 独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院 栄養管理部、

2) 独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院 糖尿病・代謝内科

ポスター 4 14:30～15:20

ポスター会場(10F 会議室8)

座長：森崎 哲朗(八代市医師会立病院 院長)

[教育研修・医療安全・医療情報]

P-16 Web 上でフリーの相互作用チェックシステムを用いた相互作用報告

○庄 泰紀

独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院

P-17 A 病院における CV ポートの使用状況と課題

○梅田 知寿子、高野 さおり

独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院

P-18 脳神経外科脳神経内科病棟看護師における 改定水飲みテストの体験前後の意識調査

○田中 孝樹

独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院

P-19 病棟看護師の退院支援に関する実態調査 ～今後の退院支援リンクナーズの育成研修を考える～

○中島 真由子、岡村 香織

独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院

P-20 A 病院における IV ナース育成の取り組み

○松本 春美、田上 晃子、山本 佐登美、坂上 和江

独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院